

ISM(IT Security Manager) CloudOne Ver.4.0i - 運用マニュアル - 正誤表

2011年12月20日 クオリティソフト株式会社

マニュアルの内容に誤りがあります。下記、正誤対象表をご確認ください。

ページ	見出し	誤	正
74	◆ Androidクライアント 重要「Androidクライアントのバージョンアップ」	Androidクライアントは、Androidマーケットから自動更新が可能です。ただし、スマートフォンクライアントの「アカウントと同期の設定」の「自動同期」が有効になっている必要があります。このため、自動更新を有効にしておくように契約会社へ通知してください。☞「アカウントと同期の設定」は、端末のメニューから「設定」－「アカウントと同期」の順に選択すると表示されます。	→ Androidクライアントは、Androidマーケットから自動更新が可能です。ただし、Androidマーケットで「自動更新を許可する」の設定をオンにしておく必要があります。設定をオンにするよう契約会社へ通知してください。 なお、ISMCloudManagerについても、「自動更新を許可する」の設定をオンにしておくことにより、自動更新が可能です。
74	◆ Androidクライアント	Androidクライアントは、Androidマーケットから自動更新が可能です。ただし、スマートフォンクライアントの「アカウントと同期の設定」の「自動同期」が有効になっている必要があります。☞「アカウントと同期の設定」は、端末のメニューから「設定」－「アカウントと同期」の順に選択すると表示されます。	→ <左の記述を削除してください。>
101	4-8. クライアントプログラムがバージョンアップしたとき ヒント「スマートフォンクライアントの場合」	新しいAndroidクライアントがリリースされると、Androidマーケットから自動的にダウンロードしてバージョンアップされます。ただし、スマートフォンクライアントでアプリケーションの自動同期を有効にしておく必要があります。	→ 新しいAndroidクライアントがリリースされると、Androidマーケットから自動的にダウンロードしてバージョンアップされます。ただし、Androidマーケットで「自動更新を許可する」の設定をオンにしておく必要があります。 なお、ISMCloudManagerについても、「自動更新を許可する」の設定をオンにしておくことにより、自動更新が可能です。